

News letter

自治医科大学附属病院 卒後臨床研修センター

少しずつ日脚が伸びてくる頃となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか？さっそくNewsletter 第47回配信です！どうぞお楽しみください。

〈診療科紹介 画像診断科・放射線治療科〉

寒い日が続いているが、学生のみなさん元気にお過ごしでしょうか。

2021年度より、自治医科大学附属病院では放射線科の標榜をなくし、画像診断科と放射線治療科に分けて診療にあたっています。内科や外科のように目立つ存在ではありませんが、画像診断や血管内治療、放射線治療を通して、院内外で科の垣根を越えて患者さんと関わり、他科の医師を支えています。

【画像診断科】読影と血管内治療（IVR）業務を担っています。自治医大は大学病院でありながら、地域の拠点病院としての役割を担っています。豊富な症例数のもと、Common Disease から希少疾患まで、幅広い症例経験を積むことが出来ます。研修医と指導医の1対1で画像を供覧しながらの読影指導を行っており、対話を通じて症例に対する理解を深めることを目標としています。小児疾患についても、併設されているとちぎ子ども医療センターと交流があり、小児画像診断医の元で研修することが可能です。IVRに関しては、3次救急疾患や大動脈ステントグラフト内挿術など、学べる手技は多彩です。

【放射線治療科】近年、がん治療における放射線治療の役割はますます大きくなっています。治療技術の発展により一部のがんにおいては手術と同等の治療成績をもたらすことが可能となってきていることから、社会的にも注目を集めています。当科では年間1000人を超える放射線治療患者さんの診療にあたっており、国内でも有数の症例数を誇ります。高精度な照射法である強度変調放射線治療や定位放射線治療、婦人科腫瘍に対する画像誘導密封小線源治療などにも積極的に取り組んでいます。百聞は一見に如かず、興味を持たれた方は是非見学にいらっしゃってください。



(集合写真：2021.4.9 医局にて)

【医師国家試験予想問題】

放射線科の画像問題は各科でも出ますので、放射線医学に特化した問題にしました。

一般問題

1 核医学検査で用いられるのはどれか。

- a アルファ線
- b ベータ線
- c ガンマ線
- d エックス線
- e 中性子線

解答： c

解説：

- a アルファ線は核医学治療で去勢抵抗性前立腺癌の造骨性骨転移に利用される。
- b ベータ線は主に核医学治療で甲状腺疾患、一部の悪性リンパ腫、一部の悪性褐色細胞腫、一部の神経内分泌腫瘍に利用される。
- c 放射線を用いた画像診断や外部照射法の放射線治療に利用される。
- d 外部照射法の放射線治療に利用されていたが、最近はガンマナイフ、サイバーナイフ、重粒子線治療などに置き換わっている。

2 外部照射に用いられるのはどれか。2つ選べ。

- a 電子線
- b 腔内照射
- c 密封小線源
- d 非密封小線源
- e 高エネルギー エックス線

解答： a, e

解説：外部照射は高エネルギー エックス線と電子線である。内部照射には、密封小線源治療と非密封小線源治療がある。腔内照射は密封小線源治療の一つであり、子宮頸癌で主に用いる